

福岡市 精神保健福祉医療サービスに関する アンケート調査〔通院患者さん用〕

【ご協力をお願い】

日頃から福岡市の保健福祉の向上にご協力いただきまして、ありがとうございます。

福岡市では、障がいのある人が必要な支援を受けながら、自らの能力を最大限発揮し、地域や家庭でいきいきと生活することのできるまちづくりをめざし、「第5期福岡市障がい福祉計画」(平成30年度～令和2年度)および「福岡市保健福祉総合計画」(平成28年度～令和2年度)に基づき、障がい福祉施策を進めております。

今回、令和3年度以降の障がい福祉計画を作る基礎資料とするため、福岡市内及び近郊の医療機関(精神科・神経科)に入院・通院している方から3,000人の方に、生活の様子や福祉サービスに対するご意見やご要望などについて、アンケート調査を行うことといたしました。

ご回答いただいた結果は「このようなご意見の方は全体の何パーセント」という形で、すべて統計的に処理を行います。あなたのお名前や回答の内容が他の人に知られることはありませんので、安心してお答えください。

この調査は、これからの福岡市の障がい福祉施策の充実のために実施するものです。

お手数をおかけして申し訳ありませんが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

れいわ がんねん がつ
令和元年9月

福岡市

記入にあたってのご注意

- 通院中の方はお帰りになる前に調査票に記入し、病院スタッフまたは担当医にお渡しください。
(希望される方は、封筒に入れ 封をしてお渡しください)
- 鉛筆またはボールペンで記入ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問は問35までありますが、質問によっては、回答していただく方が限定される場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
- 調査票に住所や名前を書く必要はありません。
- この調査によってお伺いした回答は、調査目的以外には使用いたしません。
- ◆ 記入にあたって、ご不明な点がある方や支援が必要な方は、ご遠慮なくお問い合わせください。

【調査に関するお問い合わせ先】

福岡市精神保健福祉センター

電話: 092-737-8825 FAX: 092-737-8827 E-mail: seishinhoken.PHWB@city.fukuoka.lg.jp

問1 このアンケートを回答される方は誰ですか。【○は1つだけ】

1. 本人 2. 家族 3. その他 ()

問2 あなたは、精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。【○は1つだけ】

1. 持っている 2. 持っていない

問2-1は、問2で「2. ない」を選ばれた方におたずねします

問2-1 精神障害者保健福祉手帳を持っていない理由は何ですか。【○は1つだけ】

1. 制度を知らなかった
2. 対象ではなかった
3. 必要ない(あまり役に立たない)ので申請しなかった
4. 取得するのは気が進まないで申請しなかった
5. 申請中
6. その他 ()

問3 現在の住まいの形態は何ですか。【○は1つだけ】

1. 自分や家族の持ち家
2. 民間の借家や賃貸アパート・マンションなど
3. 市営・県営住宅、公社・UR(公団)住宅
4. 地域の中で仲間と生活する、世話人がいる共同住宅 (グループホーム)
5. 障がい者や高齢者の入所施設 (障がい者支援施設、特別養護老人ホーム、軽費老人ホームなど)
6. なし
7. その他 ()

外出の状況等についておたずねします

問 4 あなたは、どのくらいの頻度で通勤や通学、通所、買い物、通院、レジャーなどを行っていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。【〇は1つだけ】

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 週に4回以上 | 2. 週に3回 | 3. 週に2回 |
| 4. 週に1回 | 5. 月に1～2回 | 6. 外出しない |

問4-1、2は、問4で「1.」～「5.」を選ばれた方におたずねします

問 4-1 どのようなところに外出することが多いですか。

【〇はあてはまるものすべて】

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 仕事 | 2. 通所施設など | 3. 学校 |
| 4. 買い物 | 5. レジャー・スポーツ | 6. 美術館・映画など |
| 7. 親戚や友人 | 8. 病院・医院など | 9. 役所や相談所など |
| 10. 旅行・行楽 | 11. 散歩・散策 | 12. 食事・喫茶 |
| 13. その他 () | | |

問 4-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。

【〇はあてはまるものすべて】

- | | | |
|---------------|------------|-------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車・バイク | 3. 自家用車 (家族の車も含む) |
| 4. 送迎車 (施設など) | 5. タクシー | 6. 地下鉄 |
| 7. JR・西鉄電車 | 8. バス | |
| 9. その他 () | | |

問 5 あなたは、外出する時、どのようなことに不便や困難を感じますか。【〇は5つまで】

- | |
|---------------------------------|
| 1. 歩道がない道路に危険を感じる |
| 2. 歩道に段差が多い |
| 3. 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない |
| 4. 信号の変化がわかりにくく、危険を感じる |
| 5. 障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない |
| 6. ICカードの使い方がわからない |
| 7. 障がい者用の駐車場が少ない |
| 8. 障がい者用トイレが少ない |
| 9. エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない |
| 10. エレベーターや障がい者用トイレなどの案内標識が少ない |
| 11. 道路に自転車などの障害物が多い |
| 12. 歩行者や走行自転車のマナーの悪さ |
| 13. 外出に必要な情報が得られない |
| 14. 付き添いをしてくれる人がいない |
| 15. 困った時、まわりの人が助けてくれない |
| 16. まわりの人の目が気になる |
| 17. 外出に費用がかかりすぎる |
| 18. その他 () |
| 19. 特にない |

就労の状況についておたずねします

問 6 あなたは、現在、働いていますか。また、働いた経験がありますか。(アルバイト・パートも含む)

【〇は1つだけ】

1. 働いている	→	問 7 へ
2. 以前は働いていたが辞めた	→	問 10 へ
3. 働いたことはない	→	問 11 へ

問7～9は、問6で「1. 働いている」を選ばれた方におたずねします

問 7 あなたの就労形態は何ですか。【〇は1つだけ】

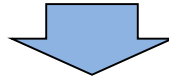
1. 自営業主	2. 家族従事者	3. 正規の社員・従業員
4. 臨時・日雇、アルバイト、パート	5. 派遣社員	6. 内職
7. 施設で働いている (就労継続支援事業所など)		8. 休職中
9. 将来、企業などで働くため、施設に通っている (就労移行支援事業所など)		

問 8 どのような方法で仕事を探しましたか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 病気になる前から働いていた
2. ハローワークからの斡旋 (紹介)
3. 障がい者就労支援センターに支援してもらった
4. 地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターに支援してもらった
5. 役所関係者 (保護課も含む)からの紹介
6. 学校、各種学校の紹介
7. 職業能力開発校など職業能力開発施設の紹介
8. 施設 (就労移行支援事業所など)に支援してもらった
9. 病院の関係者からの紹介
10. 自分で探した (求人誌などを利用も含む)
11. 家族、親戚の紹介
12. 知り合いの紹介
13. 障がい者団体の紹介
14. 起業した
15. その他 ()

問9 あなたの、ふだんの月収(手取り額)はどのぐらいですか。賞与(ボーナス)などの臨時的に支給されるものや障害年金、生活保護は除きます。【〇は1つだけ】

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 3,000円未満 | 2. 3,000円～5,000円未満 |
| 3. 5,000円～1万円未満 | 4. 1万円～3万円未満 |
| 5. 3万円～5万円未満 | 6. 5万円～10万円未満 |
| 7. 10万円～15万円未満 | 8. 15万円～20万円未満 |
| 9. 20万円～30万円未満 | 10. 30万円以上 |
| 11. 収入はない | |



問9に回答した方は、問11へお進みください

問10は、問6で「2. 以前は働いていたが辞めた」を選ばれた方におたずねします

問10 仕事を辞めた原因は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 障がいや病気で身体的に働くことが困難になったため (体調不良も含む) |
| 2. 職場で必要な支援を受けることが出来なかったため |
| 3. 職場の人間関係が上手くいかなかったため |
| 4. 仕事内容が自分には向いていなかったため |
| 5. 家庭の事情(家事・結婚・育児 など)のため |
| 6. 会社から解雇されたため (リストラ など) |
| 7. 倒産などの会社の都合 |
| 8. その他 () |



問10に回答した方は、問11へお進みください

問 13 どのような働き方や制度があれば障がいのある方が働きやすいと思いますか。

【〇はあてはまるものすべて】

1. 工賃(収入)の増加
2. 在宅勤務
3. 短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮
4. 調子の悪いときに休みを取りやすくする
5. 配置転換などの人事管理面についての配慮
6. 通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮
7. 仕事(作業)の内容の簡略化などの配慮
8. 仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者(ジョブコーチ等)による支援
9. 職場復帰のための訓練機会の提供・充実
10. 職業に関する相談支援の充実(障がい者就労支援センターなど)
11. 試しにいろいろな仕事(作業)を体験してみること(職場実習など)
12. 障がいのある方数名でのグループ単位での雇用
13. ピアサポーターなど病気の経験を生かして働けること
14. その他 ()

福祉サービス等の利用についておたずねします

問 14 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後(2～3年以内に)利用したいと思えますか。①～⑫の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

サービス・事業名	利用状況		利用意向		
	利用したがる	利用したくない	ぜひ利用したい	今のところ必要ない	わからない
きにゆうれい 記入例	1	2	1	2	3
① 居宅介護[ホームヘルプ] ヘルパーが訪問し、家事・身体介護などのサービスを提供する	1	2	1	2	3
② 重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な人にヘルパーが訪問し、家事・身体介護や外出時の移動の支援などのサービスを提供する	1	2	1	2	3
③ 短期入所 保護者などが疾病などにより一時的に介護できない場合に障がい者を保護する(宿泊を伴う)	1	2	1	2	3
④ 施設入所支援 施設に入所する人に、夜間や休日の入浴、排泄、食事の介護などを行う	1	2	1	2	3
⑤ 共同生活援助[グループホーム] 地域で共同生活を行う住居で、日常生活上の相談、介護などの支援を実施する	1	2	1	2	3
⑥ 自立生活援助 定期的に居宅を訪問し、食事、洗濯などの課題や体調の変化や通院の状況などについて確認を行い、必要な助言などを行う。	1	2	1	2	3
⑦ 就労継続支援 A型 通所により、雇用契約に基づく就労の機会を提供する	1	2	1	2	3
⑧ 就労継続支援 B型 通所により、就労の機会や生産活動の機会を提供する	1	2	1	2	3
⑨ 就労移行支援 一般企業への就職を希望する人に対する訓練を行う	1	2	1	2	3
⑩ 就労定着支援 企業、自宅等への訪問や体調管理などに関する課題の解決に向けた支援を実施する	1	2	1	2	3
⑪ 地域活動支援センター I型 日常生活の相談をしたりサークル活動や居場所として自由に過ごせる場	1	2	1	2	3
⑫ 地域活動支援センター II・III・IV型 作業や人付き合いを通じて社会参加をするための福祉施設	1	2	1	2	3

サービス・事業名 じぎょうめい	りようじょうきょう 利用状況		りよういこう 利用意向		
	利 用 と が あ る	利 用 と は な い	ぜ 利 用 し た い	今 の と こ ろ 必 要 な い	わ か ら な い
⑬ 自助グループ 〔アルコール問題(断酒会、AAなど)や薬物問題(NA、ナラノンなど)など、同じ悩みを抱えた当事者・家族のためのグループ〕	1	2	1	2	3
⑭ 保健師の家庭訪問 〔区保健福祉センター等からの保健師の訪問〕	1	2	1	2	3
⑮ 行動援護 〔一人での外出が困難な障がい者が、区役所や病院などへの外出する際、ヘルパーが外出の援助を行う(障がい支援区分3以上)〕	1	2	1	2	3
⑯ 生活介護 〔常時介護を必要とする人に、施設での日中の介護などを行う〕	1	2	1	2	3
⑰ 自立訓練 〔身体機能、生活能力の向上のために必要な訓練を行う〕	1	2	1	2	3
⑱ 移動支援[ガイドヘルプ] 〔一人での外出が困難な障がい者が、区役所や病院などへの外出する際、ヘルパーが外出の援助を行う(障がい支援区分1以上)〕	1	2	1	2	3
⑲ 日常生活用具 〔障がい者の日常生活の利便を図るための用具の給付を行う〕	1	2	1	2	3
⑳ 地下鉄料金の助成 〔障がい者などが市営地下鉄を利用する場合に、乗車料金の全部または一部を助成する〕	1	2	1	2	3
㉑ 福祉乗車券の助成 〔高齢重度の障がい者などに対して、公共交通機関の乗車券などを交付する〕	1	2	1	2	3
㉒ 福祉タクシー料金の助成 〔在宅の重度心身障がい者(児)がタクシーを利用する際、運賃の一部を助成する〕	1	2	1	2	3
㉓ 介護保険サービス 〔介護保険に基づき、ケアマネジャーのケアプラン作成及びサービス提供を行う(デイケア、ヘルパー、高齢者施設入所など)〕	1	2	1	2	3
㉔ 計画相談支援 〔障がい者の本人や家族から、身近自立や社会参加など在宅生活全般に関する相談に応じ、保健・福祉・医療等サービスを受けられるよう調整などの支援を行う〕	1	2	1	2	3
㉕ 地域移行支援 〔障がい者施設などに入所している方、精神科病院に入院している方などへ、地域生活に移行するための相談や支援を行う〕	1	2	1	2	3
㉖ 地域定着支援 〔単身などで生活する障がいのある方に、地域生活を継続できるように支援を行う〕	1	2	1	2	3

問 15 問14の①～24②のサービス・事業の中で、サービスの量が不足していたり、他のサービス・事業よりも優先して、利用対象・範囲の拡大などを図るべきだと思うものがありますか。【○は1つだけ】

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

問15-1は、問15で「1. ある」を選ばれた方におたずねします

問 15-1 それはどのサービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。
【事業番号は①～24②の数字を記入してください】

事業番号	選んだ理由

今後の暮らし方についておたずねします

問 16 あなたは、今後(親なき後を含む)、どのように暮らしたいと思いますか。【〇は1つだけ】

1. 一人で暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. 他の家族(親戚)と同居したい
4. 友人と一緒に暮らしたい
5. グループホームなどの、地域の中で仲間と共同生活できるところで暮らしたい
6. 障がい者の入所施設で暮らしたい
7. 高齢者の入所施設(特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど)で暮らしたい
8. その他 ()
9. わからない

問 17 あなたが、今後も自宅やグループホームなど地域で生活し続けるためには、どのような医療の支援が必要だと思えますか。

【〇は2つまで】

1. 特にない
2. 夜眠れない時などに利用できる医療電話相談
3. 精神科医の往診
4. 精神科デイケアや訪問看護の充実
5. 夜間や休日に対応(受診・入院)できる精神科の医療機関
6. 他多職種チームにて、訪問による生活支援・就労支援・家族支援・医療支援などを行うアウトリーチ支援ACTの充実
7. その他 ()

問 18 自宅やグループホームなど地域で生活し続けるためには、どのような条件が必要だと思えますか。

【〇は3つまで】

1. 昼間の介護を頼める人がいること
2. 夜間の介護を頼める人がいること
3. 調理食事や掃除、洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること
4. 介護を受けながら日中活動を行う施設に通えること介護や訓練を受けるための施設に通えること
5. 就労や生活の自立、機能の回復へ向けて訓練を受けられる施設に通えること
6. 施設で働けること
7. 短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること
8. ガイドヘルパー(外出の介護を頼める人)のサービスがあること
9. 主治医や医療機関が近くにあること
10. 仕事があること
11. 家族と同居できること
12. グループホームなどの仲間と共同生活できる場があること
13. 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
14. ピアスタッフ(当事者の職員)がいる福祉施設などがあること
15. スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること
16. その他 ()
17. 特にない

情報収集や相談についておたずねします

問 19 あなたは、生活に関することで、福岡市からどのような情報が知りたいですか。
【〇はあてはまるものすべて】

1. 社会情勢や障がい者に関わる福祉制度などのこと
2. ホームヘルプなどの在宅で利用できるサービスに関すること
3. 通所施設などの日中活動の情報に関すること施設などでの日中活動に関すること
4. グループホーム、入所施設に関すること
5. 困ったときに相談ができる窓口や相談機関のこと
6. 仕事の選び方などの就職に関すること
7. 文化・スポーツ・レクリエーション、レジャーなどの余暇活動に関すること
8. 災害時の避難の仕方などの災害対策に関すること
9. ボランティア団体などのこと
10. その他 ()
11. 特にない

問 20 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛かりとなっているのは、次のどれですか。【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 市政だより | 2. 新聞 |
| 3. テレビ・ラジオ | 4. ホームページ、インターネット |
| 5. 団体の機関誌など | 6. 市役所、区役所、保健福祉センター(保健所) |
| 7. 精神保健福祉センター | 8. ゆうゆうセンター |
| 9. あいあいセンター | 10. 福岡市情報プラザ(福岡市役所1階) |
| 11. 病院、診療所(主治医、スタッフなど) | 12. 福祉施設(通所・入所施設など) |
| 13. 区障がい者基幹相談支援センター | 14. 計画相談支援事業所 |
| 15. 地域活動支援センター I 型 | 16. サービス担当者(ヘルパーなど) |
| 17. 民生委員・児童委員 | 18. 公民館 |
| 19. 家族、友人、知人 | 20. その他 () |
| 21. 特にない | |

問 21 あなたは、今の生活の中で困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。
【〇は3つまで】

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 家族との関係(家庭)について | 2. 近隣との関係について |
| 3. 友人・知人との関係について | 4. 職場の人との関係について |
| 5. 生活費などの経済的なこと | 6. 就労のこと |
| 7. 家事が困難なこと | 8. 金銭管理が困難なこと |
| 9. 服薬管理が困難なこと | 10. 健康や病気、障がいのこと |
| 11. 障がい者福祉施策のこと | 12. 老後や将来のこと |
| 13. 通っているまたは入所している施設のこと | 14. その他 () |
| 15. 特にない | |

問 22 福岡市には、精神疾患や障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる場所(機関)があります。あなたは、そういった相談場所(機関)があることを知っていましたか。また、それらの相談場所(機関)を利用したことがありますか。さらに、「利用している」を選ばれた方は、その際の満足度はどうでしたか。①～⑯の項目ごとに、利用状況、満足度のそれぞれについて、○をつけてください。

相談場所(機関)名	認知度		利用状況		満足度			
	知っている	知らない	利用している	利用していない	満足している	やや満足している	あまり満足していない	不満である
記入例	1	2	1	2	1	2	3	4
① 区保健福祉センター(保健所 健康課) 身近な相談窓口として、各種障がい福祉サービスの利用などに関する相談に対応する	1	2	1	2	1	2	3	4
② 福岡市精神保健福祉センター 精神保健福祉の専門相談窓口として依存症、ひきこもり、発達障がい、性同一性障がい、自殺予防などに対応する	1	2	1	2	1	2	3	4
③ 区障がい者基幹相談支援センター 市内14か所のセンターで、障がいのある方の在宅生活全般に関する相談支援を行う	1	2	1	2	1	2	3	4
④ 民生委員・児童委員 障がいのある方などの日常生活上の様々な問題について、身近な地域で民生委員・児童委員が相談に対応する	1	2	1	2	1	2	3	4
⑤ 障がい者就労支援センター 障がいのある人や家族、企業などの相談に応じ、「ジョブコーチ」を派遣したり、職場を開拓するなどの支援を行う	1	2	1	2	1	2	3	4
⑥ あいあいセンター(心身障がい福祉センター) 子どもの発達に関する相談支援や成人の障がい者の社会生活や就労支援などを行う	1	2	1	2	1	2	3	4
⑦ ゆうゆうセンター(発達障がい者支援センター) 発達障がいのある方に対して総合的な相談支援を行う	1	2	1	2	1	2	3	4
⑧ 福岡市障がい者110番 差別の解消や、権利擁護に関する相談などに対応する	1	2	1	2	1	2	3	4
⑨ 社会福祉協議会 生活福祉資金の貸付や日常生活への支援、ボランティア利用など、様々な生活の相談に対応する	1	2	1	2	1	2	3	4

<small>そうだん ばしょ きかん めい</small> 相談場所(機関)名	<small>にんちど</small> 認知度		<small>りよう じょうきょう</small> 利用状況		<small>まんぞくど</small> 満足度			
	<small>しる</small> 知っている	<small>しらない</small> 知らない	<small>りよう じょうきょう</small> 利用した がある	<small>りよう じょうきょう</small> 利用した はない	<small>まんぞくど</small> 満足している	<small>まんぞくど</small> やや満足 している	<small>まんぞくど</small> あまり満足 していない	<small>まんぞくど</small> 不満である
⑩ いきいきセンターふくおか <small>ちいきほうかつしえん</small> (地域包括支援センター) <small>こうれいしや す な ちいき あんしん く つづ</small> 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう <small>けんこう ふし かいご かん そうだん たいおう</small> に、健康や福祉、介護などに関する相談に対応する	1	2	1	2	1	2	3	4
⑪ よかよかルーム <small>せいねんちいきしえん</small> (ひきこもり成年地域支援センター) <small>しんない さいじやう おおむ さい いじよう ほんにん かぞく</small> 市内在住の概ね20歳以上のひきこもり本人やその家族の <small>そうだん たいおう</small> 相談に対応する	1	2	1	2	1	2	3	4
⑫ ふくおかし じさつ よぼう じょうほう たいさく すいしん 福岡市自殺予防情報対策推進センター <small>じさつ かんが かなや ほんにん かぞく しえんしや かた</small> 自殺を考えるほど悩んでいる本人や家族、支援者の方など <small>そうだん たいおう</small> からの相談に対応する	1	2	1	2	1	2	2	3

ちいき かか
地域との関わりについておたずねします

問 23 あなたの^{きんじょ}ご近所の方との^{かた}関係は、次の^{かんけい}どれに^{つき}近い^{ちか}ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 何か^{なに}困^{こま}ったときに^{たす}助け^あ合う^{した}親^{ひと}しい人^{ひと}がいる
2. たまに^{たま}家^{いえ}を^{ほうもん}訪問^あし^{ひと}合^あう人^{ひと}がいる
3. 立ち^た話^{ばなし}をする^{ていど}程度^{ひと}の人^{ひと}ならいる
4. あいさつ^{あいさつ}をする^{ていど}程度^{ひと}の人^{ひと}ならいる
5. ほとんど^{ほとんど}付き^{つき}合^あいはない

問 24 ここ2～3年^{ねん}の間^{あいだ}、^{ちいき}地域^{ぎょうじ}での^{ちやうないかい}行事^{じっし}(^{ほうさいくんれん}町内会^{なつまつ}などが^{さんか}実施^{さんか}する^{さんか}防^{ぼう}災^{さい}訓^{くん}練^{れん}、^{なつまつ}夏^{なつ}祭^{まつ}り^{さんか}など)に^{さんか}参加^{さんか}した^{さんか}ことが^{さんか}あり^{さんか}ますか。【○はあてはまるものすべて】

1. ^{さんか}参加^{さんか}している
2. たまに^{さんか}参加^{さんか}している
3. ほとんど^{さんか}参加^{さんか}して^{さんか}いない
4. ^{さんか}参加^{さんか}して^{さんか}いない
5. そのような^{ぎょうじ}行事^しがある^しことを^し知ら^しない

問 25 あなたは、^{ちいき}地域^{かた}の方^{なに}が何か^かボラン^{かつどう}ティア^{おも}活動^{おも}をしたい^{おも}と思^{おも}っている^{おも}場合^{ばあい}、^{おも}どの^{おも}ような^{おも}支^し援^{えん}・^{おも}交^{こう}流^{りゅう}が^{おも}あ^{おも}つ^{おも}ら^{おも}い^{おも}いと思^{おも}いますか。

1. ^{かんたん}簡^{かん}単^{たん}な^{かんたん}身^みの^{かんたん}周^{まわ}りの^{かんたん}世^せ話^わをする
2. ^{がいしゅつじ}外^{がい}出^{しゅつ}時^じに^{がいしゅつじ}付^つき^そ添^そう
3. ^{ふだん}普^ふ段^{だん}から^{ふだん}定^{てい}期^{きて}的^{てき}に^{ふだん}声^{こゑ}か^{こゑ}け^{こゑ}な^{こゑ}ど^{こゑ}を^{こゑ}する
4. ^{そうだん}相^{そう}談^{だん}相^あ手^{いて}に^{あいて}なる
5. ^{せけん}世^せ間^{けん}話^{ばなし}を^{せけん}し^{いっしょ}て^す一^す緒^すに^す過^すご^すす
6. ^{ちいき}地^ち域^{いき}の^{ちいき}行^{ぎょう}事^じや^{ちいき}イ^いベ^いン^つト^じに^{いっしょ}一^{さん}緒^かに^{さんか}参^{さん}加^かする
7. ^{しゆみ}趣^{しゆ}味^みや^{しゆみ}ス^{かつ}ポ^{どう}ー^{いっしょ}ツ^{いっしょ}活^{いっ}動^{しょ}を^{いっしょ}一^{いっ}緒^{しょ}に^{いっ}す^{しょ}る
8. その他()
9. 特^{とく}に^{とく}ない

防災についておたずねします

問 26 あなたが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。

【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 災害の情報を知らない方法がない | 2. 助けを求めない方法がない |
| 3. 近くに助けてくれる人がいない | 4. 一人では避難できない |
| 5. 避難所の設備が障がいに対応しているか不安 | 6. 避難所で必要な支援が受けられるか不安 |
| 7. 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい | 8. 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安 |
| 9. 医療機器の電源確保が心配 | 10. 特にな |
| 11. その他 () | |
| 12. わからない | |

問 27 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。【〇はあてはまるものすべて】

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている |
| 2. 非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている |
| 3. 疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている |
| 4. 近所の人や知人などに、災害が発生した時の助けをお願いしている |
| 5. 「避難行動要支援者名簿(旧:災害時要援護者台帳)」に登録している |
| 6. その他 () |
| 7. 特にな |

問 28 あなたは、水害や地震などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。

【〇はあてはまるものすべて】

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 同居の家族 | 2. 同居していない家族(親戚も含む) |
| 3. 近所の人 | 4. 友人、知人 |
| 5. 入所している施設のスタッフ | |
| 6. その他 () | |
| 7. 頼る必要がない(自力で避難などができる) | 8. 頼れる人がいない |

問 29 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。

【〇は1つだけ】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかといえば感じている |
| 3. どちらかといえば感じていない | 4. 感じていない |
| 5. わからない | |

差別や人権についておたずねします

問 30 これまでに、ここ2～3年の間に、精神疾患や障がいがあるため、差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。【〇は1つだけ】

1. ある

2. ない

問30-1は、問30で「1. ある」を選ばれた方におたずねします

問 30-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 病院、診療所から診察を断られた（不快な思いをした）
2. バス、電車、タクシーなどの乗車拒否にあった
3. 家を借りる時に不動産業者や家主に断られた
4. ホテル・旅館、公衆浴場、飲食店などを利用することを断られた
5. 病気や障がいを理由とした不採用や解雇
6. 役所の窓口に行ったとき、職員の対応で不快な思いをした
7. 相談機関・相談窓口に行ったとき、職員の対応で不快な思いをした
8. 学校、職場、公共施設などで不当な扱いを受けた
9. サービス担当者（ヘルパーなど）の対応で不快な思いをした
10. 入所・通所している施設職員及び他の利用者の対応で不快な思いをした
11. バス、電車、タクシーなどの乗務員の対応で不快な思いをした
12. 近所の人達の対応で不快な思いをした
13. その他（)
14. 思い出せない

問 31 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。

【〇は3つまで】

1. 障がい者の意見や行動が尊重されないこと（結婚、就職に際しての周囲の反対など）
2. 差別的な言動を受けること
3. 聴覚や視覚に障がいのある人などへ必要な情報を伝える配慮が足りないこと
4. 人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと
5. 道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと
6. 働ける場所や能力を發揮する機会が少ないこと
7. 住宅を容易に借りることができないこと
8. 就職・職場で不利な扱いを受けること
9. 役所の窓口において不当な扱いを受けること
10. 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受けること
11. 使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと
12. 学校の受け入れ体制が不十分なこと
13. 詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと
14. スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
15. その他（)
16. 特にない

福祉施策全般についておたずねします

問 32 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。【〇は3つまで】

1. 障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実
2. 就労支援の充実（働くための訓練や職場定着など）
3. 施設で働ける場（就労継続支援事業所など）の充実
4. 居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実
5. 年金など、所得保障の充実
6. グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備
7. 困ったときにいつでも専門職員が相談に応じてくれる体制の充実
8. 乳幼児期から成人期までの支援を一貫して実施できる仕組みづくり
9. 障がい者にやさしいまちづくりの推進（バリアフリーの推進など）
10. 文化・スポーツなどを通じた社会参加の支援
11. 障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実
12. 介護や訓練が受けられる施設（入所・通所）の充実
13. 行政自体の設備や手続きなどを含めたバリアフリーの推進
14. その他（）
15. 特にない
16. わからない

問 33 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。【〇は3つまで】

1. 障がいに対する理解を深める
2. 障がい者をはじめ、困っている人を支える地域活動やボランティア活動を活発にする
3. 地域の行事やイベントに障がい者が参加しやすいよう配慮する
4. 電車やJR+バスなどの公共交通機関や建物、店舗、住宅などを障がい者が利用しやすいようにつくる
5. 企業で障がい者を積極的に雇用する
6. 一般企業で働ける（働き続ける）ための支援（職場の拡充、職場理解を得るための研修など）
7. 障がい者施設などで作ったものを購入する
8. その他（）
9. 特にない
10. わからない

問 34 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じますか。【〇は1つまで】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかといえば感じている |
| 3. どちらかといえば感じていない | 4. 感じていない |
| 5. わからない | |

問 35 ^{しょう}障が^いい者^{ふくし}福祉についてご意見^{いけん}がありましたら、自由^{じゆう}に記入^{きにゆう}してください。

～ 質問^{しつもん}は以上^{いじょう}です。ご協力^{きょうりょく}ありがとうございました。～